

令和6年度

中小企業技術者研修

設計技術研修 受講案内

期間 令和6年6月～10月

〈特色〉

- (1) 機械の設計、開発および生産技術を勉強しようとする若い技術者に必要な知識を幅広く修得できるように編成しています。
- (2) 理論は最小限にとどめて入門者にもよく理解できるようにし、現場に必要な科目を多くして機械工学科修了者にも目新しい内容としています。
- (3) 応用科目には業界の権威者を当てて最新の情報が得られるようにし、基礎科目は名古屋市工業研究所の職員が担当して研修後も相談等がしやすいように配慮しています。

主催 名古屋市・(公財)名古屋産業振興公社

中小企業技術者研修 検索

CLICK!

中小企業技術者研修



《 募 集 要 項 》

- 研修期間と時間** 令和6年6月20日～10月10日（8月8日・8月15日は夏休み）
原則として毎週木曜日 9時30分～16時30分（昼1時間休憩）
講義・実習 計90時間
- 研 修 場 所** 名古屋市工業研究所 名古屋市熱田区六番三丁目4-41
- 募 集 人 員** 定員36名（同一企業からのお申し込みは、3名まで）
- 受 講 料** 60,500円（税込）
- 修 了 証 書** 所定時間数以上出席の受講者には、名古屋市長より、修了証書が交付されます。
- 申 込 方 法** 添付の受講申込書、または https://www.nipc.or.jp/kougyou/p_training/doc/gikenshu.doc からダウンロードした申込書フォーム（Word文書）に必要事項を記入の上、郵送・ファックス・電子メール添付のいずれかにより下記までお申込みください。（数日経過しても当方より連絡がない場合は、お手数ですが、ご連絡をお願いいたします。）
- 本研修の目的に合うと認められる中小企業者からのお申込みは、先着順に受講決定のご連絡をいたします。*大企業からのお申込みについては、中小企業者からの受付状況をふまえ、順次受講の可否のご連絡をいたします。また、定員に達したときは、締切日を早めることがありますのでご了承ください。
- ※中小企業基本法に定める中小企業に該当しない企業を大企業とします。
- 申 込 先** 〒456-0058 名古屋市熱田区六番三丁目4-41 名古屋市工業研究所内
公益財団法人 名古屋産業振興公社 ものづくり人材育成課
電話〈052〉654-1653 FAX〈052〉661-0158
E-mail:kenshu@nipc.or.jp
- 募 集 締 切 日** 令和6年5月30日（木）17時必着
- 受 講 料 の 納 入** 募集締切後、受講料の請求書をお送りしますので、開講日前日までに
お振込みをご予定ください。
- そ の 他** ○納入された受講料の払戻しはいたしません。
○講義日程等は変更することがあります。
○研修中の事故については、一切責任を負いません。
○本研修を受講された受講者の事業主に対して、**要件を満たす場合**、
「人材開発支援助成金」制度の利用ができます。

— 助成金制度の詳細やお問合わせ先 —
厚生労働省愛知労働局 あいち雇用助成室
TEL 052-688-5758

《研修科目と講師》

月日	時間	科 目	講 師	主 な 内 容
6/20 (木)	6	機械設計のプロセス	(公財)名古屋産業振興公社 間瀬 好康	機械設計で、どんな構造・寸法・材料・強度にするのか、どんな要素を選び、どう加工を指示し、どのように図面に表現するかなどの設計実務フローを学習する。
6/27 (木)	6	材料力学の基礎	AN技術士事務所 中本 昭	物体に作用する力と変形の関係について学び、棒の引張、軸のねじり、はりの曲げについて設計業務に応用できる力を付ける。
7/4 (木)	3	材料力学の基礎		
7/4 (木)	3	鉄 鋼 材 料	名古屋市工業研究所 金属材料研究室 杉山 周平	炭素鋼を中心とした鉄鋼材料の種類、特性、用途など
7/11 (木)	3	銅および銅合金材料	NJT銅管(株) 澤 聖健	銅および銅合金材料の特性、铸造性、加工性、耐食性、溶接性、素性、その他
	3	アルミニウム材料	(株)UACJ 林 知宏	加工用アルミニウムの製造法概要、合金の分類、主要添加元素の材料的意義、合金の調質方法、物理的および化学的性質、二次加工、表面処理
7/18 (木)	3	金属の破壊事例	名古屋市工業研究所 計測技術研究室 夏目 勝之	金属破面の特徴 破壊事例紹介 破壊原因調査と対策
	3	プラスチック材料	名古屋市工業研究所 製品技術研究室 波多野 諒	各種プラスチック材料の特性、応用などの概説
7/25 (木)	3	ね じ の 選 び 方	(株)八幡ねじ 村上 清志	ねじ、強度設計、締め付け管理
	3	歯 車 設 計	(株)ジェイテクトギヤシステム 丸山 健一	歯車の図面の見方、設計について
8/1 (木)	6	こ ろ が り 軸 受	NTN(株) 二之湯 伸幸	転がり軸受の形式と呼び番号、選定手順、荷重と寿命特性、損傷と対策
8/22 (木)	3	ば ね 設 計	中央発條(株) 遠矢 英樹	ばね設計の要点、ばねの特性、用途など
	3	モ ー タ の 選 び 方	東芝産業機器システム(株) 山本 雄司	モータの種類と選び方
8/29 (木)	3	空 圧 機 器 の 基 礎 ・ 応 用	CKD(株) 植村 浩司	空気圧システムの概要、機器の構造と特徴、空気圧システムのサイジング、回路設計の基本と応用
	3	治 具 の 基 礎 と 応 用	(株)ナベヤ 川辺 英樹	治具の役割と現場における活用

月 日	時間	科 目	講 師	主 な 内 容
9/5 (木)	3	締 結 要 素 設 計	名古屋市工業研究所 製品技術研究室 巢 山 拓	各種締結要素の特徴、用途、設計について概説する。
	3	油 圧 機 器 と そ の 応 用	(株)ジェイテクトフルード パワーシステム 近 藤 貴 俊	油圧駆動に関する基本的な考え方とポンプ・バルブなどの各種油圧機器ならびに油圧回路
9/9 (月) 9/12 (木) 9/13 (金)	6	※ シ ー ケ ン ス 制 御	三菱電機(株)名古屋製作所 山 本 新	シーケンス制御の種類とシーケンス制御装置の選び方および具体的応用シーケンサの使い方(プログラミング)の実習
9/19 (木)	3	N C 工 作 機 械	オークマ(株) 土 田 康 二	N C 工作機械の導入のメリットおよび設計上、構造上の特徴などについて述べ、今後の方向ならびに欧米の傾向などについても略説する。
	3	電 気 設 備 と 配 電 盤	日東工業(株) 落 合 政 貴	電気設備に対する配電盤の役割とその設計の概要について
9/26 (木)	3	伝 熱 の 基 礎	名古屋市工業研究所 生産システム研究室 立 松 昌	伝熱の主要な3形態である伝導伝熱、対流熱伝導、ふく射伝熱について概説する。
	3	機 械 の 低 騒 音 化 技 術	名古屋市工業研究所 計測技術研究室 山 内 健 慈	音響、振動の基礎および防音・防振材料など
10/3 (木)	6	製 品 の 完 成 度 向 上 と 開 発 期 間 短 縮 の 取 り 組 み	(株)豊田マネージメント研究所 中 村 公 一	製品の開発期間を短縮するために開発業務の質を向上して、問題の発生を未然に防止する方法や図面完成度を早期に高める手法およびツール等について、トヨタ流製品開発システムを例に解説する。
10/10 (木)	6	C A E 実 習 ・ 材 料 試 験 実 習	オートデスク(株) 関 屋 多 門 名古屋市工業研究所 生産システム研究室 松 下 聖 一 田 中 智 也 製品技術研究室 二 村 道 也 巢 山 拓 金属材料研究室 深 谷 聡 樹 中 村 浩 樹	3 Dモデル作成と解析、材料試験・超音波探傷

※9月9日、9月12日、9月13日(いずれか1日)の研修会場は、三菱電機(株)名古屋製作所 F A コミュニケーションセンターにて行います。また、見学先の意向により同業他社の方の見学をお断りする場合がございます。

連絡先 〒456-0058 名古屋市熱田区六番三丁目4-41 名古屋市工業研究所内
公益財団法人 名古屋産業振興公社 ものづくり人材育成課
電話 <052> 654-1653 F A X <052> 661-0158
E-mail:kenshu@nipc.or.jp

令和6年度 中小企業技術者研修受講申込書【設計技術研修】

令和 年 月 日

社名	(ふりがな) URL :		
組織の代表者	役職	氏名	生年月日 年 月 日
本社所在地	〒 TEL() - FAX() -		
資本金	万円	従業員数	名
業種 (下記一覧より記載)	主要製品		

受講者			
所属	役職	ふりがな 氏名	
勤務地	〒		
連絡先	TEL	FAX	
担当業務			
本研修で 学びたい事	受講の目的や今回特に学びたい事等ご記入ください。		

連絡責任者			
所属	役職	ふりがな 氏名	
請求書等送付先	〒		
連絡先	TEL	FAX	
E-mail :	※よろしければ、関連する研修等のご案内をさせていただきますので、ご記入ください。		

(業種分類一覧)

0001 食料品製造業	0012 なめし革・同製品・毛皮製造業	0023 輸送用機械器具製造業	0034 学術研究, 専門・技術サービス業
0002 飲料・たばこ・飼料製造業	0013 窯業・土石製品製造業	0024 その他製造業	0035 宿泊業, 飲食サービス業
0003 繊維工業	0014 鉄鋼業	0025 農・林・水産業	0036 生活関連サービス業, 娯楽業
0004 木材・木製品製造業(家具を除く)	0015 非鉄金属製造業	0026 鉱業	0037 教育, 学習支援業
0005 家具・装備品製造業	0016 金属製品製造業	0027 建設業	0038 医療, 福祉
0006 パルプ・紙・紙加工品製造業	0017 はん用機械器具製造業	0028 電気・ガス・熱供給・水道業	0039 複合サービス事業
0007 印刷・同関連業	0018 生産用機械器具製造業	0029 情報通信業	0040 サービス業(他に分類されないもの)
0008 化学工業	0019 業務用機械器具製造業	0030 運輸業	0041 公務(他に分類されるものを除く)
0009 石油製品・石炭製品製造業	0020 電子部品・デバイス・電子回路製造業	0031 卸売・小売業	0042 分類不能の産業
0010 プラスチック製品製造業	0021 電気機械器具製造業	0032 金融・保険業	
0011 ゴム製品製造業	0022 情報通信機械器具製造業	0033 不動産業・物品賃貸	

※ご記入いただきました個人情報、研修生への連絡や名古屋市工業研究所及び当公社の開催する研修の案内など研修の円滑な運営に必要な範囲内に限り、使用させていただきます。暴力団の活動に利用されることにより当該暴力団の利益になると認められるときは、受講をお断りします。なお、その判断をするに当たっては、暴力団員であるかどうか等について、愛知県警察本部長の意見を聴くことがあります。